

市長から 市民のみなさんへ



山陽小野田市長 白井 博文

19 「市民ボランティア」の総合窓口の設置に向けて

「市民ボランティア」の総合窓口設置 に向けて準備をはじめました

今回は現在、計画段階から実施に向けて動き始めた「市民ボランティアの活用」に関する市の取組みについてお話しさせていただきます。

これからの数年間で、戦後日本の経済復興を支えてきたいわゆる“団塊の世代”の方々の大量退職がピークを迎えます。高齢化社会の更なる進展だけでなく、労働人口の減少とともに、その知識・技術を次の世代にバトンタッチできるかなど産業構造をも揺るがす問題としてクローズアップされているところです。

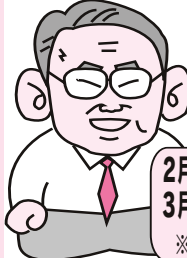
一方で何十年と会社人間として働き続けたこの世代において、第2の人生を踏み出すにあたり、培ってきた経験を地域社会の中で活かしたいと考えている人の割合が高いとも聞きます。そのような意欲をもった方々を活用するための取組みも全国では始まっているところです。

しかしながら本市の場合、市役所の各部署ごとに市民団体との接点をもっているため、意欲的にボランティア活動を希望しようとする人に対して、総合的に対応できる窓口がないという問題点があります。そこで、今回、まず市役所全体でどのような市民団体があり、そこでどのような方々が活躍されているかを一つに体系化する作業を関係部署に指示をしたところです。その後、一元化された情報をもとにして「地域の役に立ちたい、力になりたい」という善意の気持ちを

しっかりと受け止めることができる環境づくりをすすめていきたいと考えていますし、更に今まで活動されてきた方々にも、違う分野でのご協力をお願いできるようなしくみができれば、横のつながりが生まれ、今以上に活動が活発化されることが期待できると考えているのです。

早いもので、市長に就任し1年になるうとしていますが、まちづくり市民会議、対話の日、市政説明会、出前講座などを行い、市民の中に飛び込んで市民と市との距離を縮めることに精力を傾けてきたつもりです。それは市民との垣根を取っ払うことにより、市政を身近に感じてもらうために行ってきたことですが、今回の市民ボランティアのための総合窓口の新設は、より多くの市民のみなさんがその垣根を飛び越えて、市政へ参加していただくための受け皿づくりとして私がかたいへん重要視している事業でもあるのです。市民のみなさんの知恵、力が大きなエネルギーを生み出すことは「まちづくり市民会議」が実証してくれました。更に多くの人の力をいただいて、私の掲げる「市民参加による市民本位のまちづくり」の第2段階をスタートさせたいと強く願っています。

情報が整理されたところで、広報紙、ホームページなどでご紹介する予定にしています。一人ひとりの力は小さくとも、それが一つの塊になったとき、まちを動かす大きな力となるはずです。今まで、ボランティア経験のない方にも是非、関心をもっていただき、知恵と力を貸していただければと思います。



2・3月の 対話の日

2月23日(木) 赤崎福祉会館
3月23日(木) 不動寺原公会堂
※19:00から 1時間30分程度です

「山陽小野田市」合併1周年記念

『市民ふれあいの集い』

3月21日(祝) 10:00～ 文化会館

- ◇市旗の披露、「市の木・市の花」の発表
 - ◇河野克典（バリトン歌手：本市出身）ミニコンサート
 - ◇地産地消フェア
- などを行う予定です。たくさんの方のお越しをお待ちしています。 【問い合わせ先】総務課（☎82-1121）

第3回

ひと 女と男の一行詩

3月3日(金)まで
作品募集中

男女共同参画社会の実現に向け、身の回り（家庭・学校・地域社会・職場など）で感じる「男女差別」や「男女平等への想い」などを詠んだ一行詩を募集しています。

はがき・FAX・E-mailで住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を必ず明記してご応募ください。

【問い合わせ・応募先】〒756-8601

山陽小野田市役所 市民活動推進課「女と男の一行詩」係

TEL:82-1134 FAX:83-9336

E-mail:danjo@city.sanyo-onoda.lg.jp